

非常用発電設備等保守点検業務委託仕様書

1 件名

非常用発電設備等保守点検業務委託

2 概要

この仕様書は、非常用発電設備等保守点検業務委託について必要な事項を定める。

3 保守点検対象機器及び設置場所

	型式等	KVA	数 量	設置場所
非常用発電設備	4 T N E 8 4 T－G L	1 5	1 台	別表 1 のとおり
	C P X－K 1 5 H R S		5 台	
	T L G－1 5 S P G X (3 W) F	1 5	4 台	
	T L G－5 S P G X (2 W) F	5	1 台	
	K C 2 X－1 5 R B S	1 5	7 台	
	S L 2－2 0 5 K S R (B)	5	1 台	
	S L 2－2 1 5 Y S R (B)	1 5	1 台	
	T Q G P 1 6 K A		24 台	
	T Q G P 1 6 L A		1 台	
	T Q G P 6 K A	5	19 台	
	T R G P 5 M A		21 台	
	T Y G P 5 M A	5	2 台	
	計	5	44 台	
		1 0 ～ 1 5	43 台	
発電機	ホンダ技研工業(株) 4 サイクル発電機		167 台	別表 2 のとおり
	ヤマハモーターパワープロダクツ(株) 4 サイクル発電機			
エンジンポンプ	ホンダ技研工業(株)		20 台	
	(株)寺田ポンプ製作所			

4 保守点検業務

- (1) 保守点検は、機器に精通した優秀な技術者を派遣し、業務着手前及び完了時に発注者に連絡し、指示を受けることとする。
- (2) 別表 5 に示す箇所においては、非常用発電設備のバッテリー等の交換を行うこととする。
- (3) バッテリー等の交換を行った後、動作確認を実施して機能的に不備がないことを確認する。
- (4) 実施期間等

区 分	実施時期	点検項目	作業時間帯
定期保守点検	契約日から 令和 9 年 3 月 1 9 日 (金) までの間	別表 3、4 のとおり	月～金 9 時～17 時 ※祝日は除く

区 分	実施時期	箇所	作業時間帯
バッテリー等 交換	契約日から 令和 9 年 3 月 1 9 日 (金) までの間	別表 5 のとおり (2 1 箇所)	月～金 9 時～17 時 ※祝日は除く

5 緊急保守点検

緊急保守点検は、保守点検対象機器に異常が生じた場合に、発注者より連絡を受け次第、直ちに機器に精通した優秀な技術者を派遣し実施するものとする。

ただし、定期保守点検項目外の故障及び定期保守点検終了の日から 60 日を経過した場合は、有償で行うものとする。

6 消耗品

点検に要する消耗品は、受注者の負担とする。

ただし、修理部分の総額が 3,000 円を超える分の差額については、発注者の負担とする。

7 業務実施計画

保守点検業務実施にあたっては、あらかじめ保守点検業務実施計画書を提出し、承認を得た後、実施するものとする。

ただし、緊急保守点検にあつては、口頭によることができるものとする。

8 報告

点検作業終了後は、速やかに保守点検結果報告書（写真含む）を提出し、検査・検収を受けるものとする。

9 施設の現状維持

点検作業中に建物等に損害を与えた場合は、直ちに発注者へ報告するとともに、施設管理者と協議して受注者の責任において速やかに原状に復するものとする。

1 0 作業実施

- (1) 点検作業の実施にあたっては、施設管理者の指示に従い、事故等が生じないよう十分注意すること。
- (2) 点検作業の実施にあたっては、必ず受託者所属の制服または作業服を着用し、身分証明書を携帯するものとする。

1 1 環境への配慮

- (1) 「相模原市環境方針」の主旨を理解し業務を行うこと。
- (2) 提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。
- (3) 業務実施時に車両を使用する場合は、アイドリングストップの実施を徹底し、他者に運搬等を委託する場合においても、アイドリングストップの実施を周知するよう努めること。
- (4) 業務の実施においては、廃棄物の減量化・資源化に取り組むとともに、廃棄物の処理にあたっては、関連法令を遵守し、適正に処理すること。

1 2 暴力団排除について

別紙「相模原市暴力団排除条例に基づく契約事務からの暴力団排除について」のとおり。

1 3 その他

本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、発注者と受注者が協議して決定するものとする。